

# 市民とともに 高市政権に立ち向かう

東京・新宿  
田村委員長が訴え



日本共産党の田村智子委員長は9日、総選挙の結果を受け、衆院比例東京ブロックでともにたたかった宮本徹、谷川智行両氏と新宿駅前で演説しました。

選挙での支持・支援に感謝の意を表し、「ここから、高市政権に立ち向かう力を市民のみなさんとつくる」「平和、暮らし、人権、民主主義の旗を高く掲げ、たたかっていこう」と訴えました。

田村氏は選挙結果について、「みなさんの期待にこたえることはできなかった」「内外の意

見真剣に耳を傾け捲土(けんど)重来を果たしたい」と表明しました。「自民党が圧勝というが、憲法9条を変えてほしいから、自民党に一票を投じたという人がどれだけいるのか」「(選挙結果を)改憲への白紙委任状にしてはならない。そのたたかいは今日、ここから始まって



(写真) 総選挙の結果を報告し、これからの決意を述べる田村智子委員長=9日、東京・新宿駅東口

いる」と述べ、戦争国 国民的な運動を呼び掛家づくりにたちむかう けました。

## 改憲反対！ 平和あきらめない 9条壊すな実行委が緊急行動



(写真) 改憲反対とアピールする緊急行動参加者=10日、首相官邸前

総選挙の結果、自民党が衆院で戦後最多の議席を獲得したことを受け、憲法9条を壊すな！実行委員会は10日夜、高市早苗政権の改憲と戦争準備に反対する緊急行動を首相官邸前で行いました。

司会を務めた同実行

委の菱山南帆子さんは「選挙の結果に嘆いてばかりはられない。平和を諦めることはできない」と力を込めました。参加者らが次々発言。「改憲と戦争準備の高市政権の行く手をふさぐ闘いを一緒にやり抜こう」と訴え。

日本共産党の山添拓政策委員長は「憲法を真ん中にすえた新たな共同のためにみなさんと力を尽くす」と強調。社民党の福島瑞穂党首は「改憲を止めるべく、国会内外で手を携えて頑張ろう」と訴えました。(赤旗2月11日付)

## 「赤旗」申し込み 4日間で1200人超

メディアが一斉に「自民圧勝」と報じた8日午後8時以降、日本共産党本部への「しんぶん赤旗」日刊紙、日曜版の申し込みが急増しています。10日までの2日間で500人を超えましたが(11日付既報)、申し込みはさらに伸び、12日までの4日間で1261人になりました(午後5時現在。見本紙、無料お試し含む)。

「今回の選挙も悔しい結果でしたが、田村さんはじめ共産党のみなさんが前を向いているなら、自分にも何かできることを、と思い購読を始めようと思います」(東京・20代)、「もう投票するだけではだめだなと感じました。

### 「自分にも何かできること」

どう考えても一番まともなことを

言っている政党だと思います」(静岡・30代)など、

積極的に日本共産党を応援している、もっと知りたい、学びたいとの思いで申し込んでいるのが特徴です。申し込みの82.9%が電子版。

「信頼のおけるニュースをオンラインで読みたい」(海外・50代)

田村智子委員長のストリート対話などの動画を視聴し、共感して申し込んだとの声も目立っています。

(「しんぶん赤旗」2月13日付より)

# 国民無視させぬ

## さいたま・塩川・梅村氏

衆院比例北関東ブロックで10回目の  
当選を果たした日本共産党の塩川鉄也氏  
は、9日、北関東比例候補として奮闘し

た梅村さえこ氏とともに、さいたま市の  
JR浦和駅東口に立ち、総選挙の結果を  
報告する宣伝を行いました。



塩川氏は、高市早苗  
首相が街頭演説で大軍  
拡や改憲などの問題に  
触れないまま、これら  
を進めようとしている  
と批判し「国民は自民  
党に白紙委任したわけ  
ではない。国民の声を  
無視した政治を進める  
自民党と、断固として  
たたかいぬく」  
と強調しました。梅

村氏は「差別や分断で  
はなく、一人ひとりの  
人権が大切にされる、  
あたたかい社会へ、こ  
れからもみなさんと力  
を合わせます」と訴え  
ました。訴えに足を止  
める人や、何度も拍手  
する人、「頑張ろう」  
と声をかける人も。A  
さん(68)は「塩川さ  
んの議席守れて本当



選挙結果を報告する(左から)塩川、  
梅村の両氏11月9日、さいたま市

によかった。自民党政  
治と本気で対決できる

のは共産党しかない  
と思う」と話しました。

## 茨城県・臨時教員1600人正規化 段階的に実施へ



### 共産党 くり返し要求

茨城県は13日まで  
に、教員の産休・育  
休などで欠員が生じ  
た場合に代替で雇う  
臨時的任用教員(臨  
時教員)について、  
9割以上にあたる約  
1600人を203  
2年度までに段階的  
に正規化する方針を  
決めました。代替教  
員を探す現場の負担  
軽減や、教員の雇用  
の安定確保につなげ  
るねらいがあります。  
日本共産党県議団も  
臨時教員の正規化を

すすめるよう、県に  
くり返し求めてきま  
した。県教育改革課  
によると、県内の臨  
時教員数は約170  
0人。小・中学校1  
100人、高校35  
0人、特別支援学校  
250人にのぼり、  
特別支援学校は全体  
の1割以上が臨時教  
員です。年収も臨時  
教員と正規教員で約  
150万円もの開き  
があり、正規化を進  
めることで待遇改善  
をはかります。県は  
正規化に年間25億  
円の負担増を見込ん

でいます。

大井川和彦知事は  
会見で「臨時的に都  
合よく代替職員を探  
すというやり方を切  
り替えて、正規の教  
職員を採用するとい  
う方向に大きくかじ  
を切る」と意義を強  
調しました。



江尻加那県議

これまで正規化を求  
め続けてきた日本共

産党の江尻加那県議  
は「現場で問題になっ  
ている慢性的な教員  
不足の解消につなご  
う」として県の取り  
組みを評価。その上  
で、学級担任や学年  
主任になる負担感か  
ら正規になるのをた  
めらうことも考えら  
れるとして、教員確  
保のために「長時間  
労働や残業代を不支  
給としている現状な  
ど、教員の働き方の  
抜本的な改善も求め  
ていきたい」と話し  
ています。(赤旗2月  
14日付より)